

# 現地での研修を



研修先の羊牧場の前

写真左前から、三島美咲さん(追中2年)、丸子千帆さん(早中2年)、加納美優さん(同)。左後ろから、及川秀一郎主幹(町職員)、亀渕美里さん(追中3年)、内藤杜朗君(早中3年)、渡辺満里奈さん(追中3年)、山田遼太郎君(早中3年)、村井亜里紗さん(追中2年)、三島夏帆さん(同)、原子歩巳さん(追中3年)。

の祈りを捧げました。  
**豊かな自然の国に行つて**  
南半球に位置し、夏には気温40度を超えるオーストラリア。日本の気候とは反対で今は冬。今回の研修では雄大な自然が一行を迎えてくれました。オーストラリアにはコア



ホームステイ先

**言葉の壁に挑戦**  
中学生全員が最も不安に感じていたホームステイ。自分の英語が通じるのか、どんな人の家に宿泊するのかなど緊張したとのことでした。  
しかし、言葉の壁を越え受け入れ先の方の優しい対応に感激したと参加者が異口同音

ラやカンガルーなど固有の動物や独特な進化をした植物を見ることができるといいます。美しい景色やきれいな街を目にして一人ひとりが自然を守るこの大切さ(山田)や、ごみを減らし限りある資源を有効に使うことの意義(村井)を学んだと話していました。エコバッグの普及や自転車通勤をする人もいて、地球環境の保全や温暖化対策を進めているとのことでした。



現地の生徒と調理実習

に語っていました。相手が何を伝えようとしているのか理解しようと思えば通じ合うことを学び(渡辺)、簡単な英語が通じたときは嬉しかったと感激していました(亀渕)。  
**文化の違いを見聞**  
オーストラリアではいくつかの言語を話すことのできる人が多いとのこと(丸子、加納)。学校訪問では、香水やピアスが認められ身だしなみが厳しい日本と違い校則がゆるやかであることを実感(加納)。また、店で出される食事の量の多さに驚いていました。素材そのものの味を楽しむ日本と異なり、オーストラリア人は食材を生かした味付けを好みます(三島美咲)。  
日本より自由な点が多いが、



町民センターで報告会

交通マナーはしっかり守るメリハリのある国で、日本の車メーカや馴染みのコンビニエンス店などが多くあり、日本とのつながりを感じたといっています(丸子)。  
**海外研修を終えて**  
人種や言葉の壁を越えて心が通じ合ったことに、参加した10名の中学生は感動していました。文化や生活様式の違いなどにも驚き、海外研修をさせていただいた皆様に感謝するとともに、スライドを見ながらオーストラリアでの研修を振り返っていました。

今回研修した15名の児童・生徒それぞれの報告内容は生涯学習フェスティバルの期間中掲示されます。